

県高校新人大会

県高校新人体育大会は8日、ハンドボール男女決勝が八重瀬町の具志頭社会体育館であり、男子は興南が14年連続34度目、女子は那

興南(男子)那覇西(女子)に栄冠

持ち味の堅守速攻を發揮した那覇西が30得点で浦添を圧倒した。控え選手を含め毎試合で「全員得点」という厳しい課題を課して臨んだ新チーム。目標の全国制覇に向けてまずは県トップの力を証明した。

自陣からの縦パスに、縦から横へと流れるようなパス。浦添の選手を置き去りに敵陣に攻め上がる。前半序盤は左サイドの島袋心花が動きだしの鋭さで3連続得点すると、センターバックを交互に務めた金城菜々子と金城望子も素早いパス回しで好機をつくり、自らも得点源となってチームを引っ張った。

ハイライト

1年の時からけがで苦しんでいた金城菜。昨年の新人大会もけがに泣き、7月の県総体も左足の肉離れで不出場だった。2年生の多くも主力で優勝候補と目された県総体は、準決勝でコザに敗れた。現代は中学のころにJOCのメンバーで旧知の仲。金城菜はそこに「甘えがあった部分がある」と振り返り、県総体の悔しさから「厳しくして」と気持ち切り替えたという。優勝にも「内容はまだまだ」と口に出るのは反省ばかり。「高いレベルにいつでもやれるようにしたい」と先を見据えた。

(謝花史哲)

那覇西が3年連続15度目の優勝を果たした。自転車競技2日目は県総合運動公園自転車競技場で行い、北中城のエムプレオ・トシアキが男子スプリントで優勝するなどトラック種目で4冠を達成した。2018年から同大会で公式種目に追加され初開催された女子の部では北中城の池原杏が女子スプリントで1位になるなど4冠に輝いた。

ハンドボール

(具志頭社会体育館)

【男子】	▽3位決定戦	コザ	35	9	西原
興南	35	1817	9	18	那覇西
【女子】	▽3位決定戦	コザ	33	14	浦添
那覇西	30	1515	14	7	21

堅守速攻 30得点圧倒



那覇西―浦添 前半、ジャンピングシュートを放つ那覇西の金城菜々子。8日、八重瀬町の具志頭社会体育館(ジャン松元撮影)

伊禮 6得点躍動

興南 故障から復帰感じさせず



興南 那覇西 前半、バウンディングシュートを決める興南の伊禮颯雅。8日、八重瀬町の具志頭社会体育館

○：昨年10月の試合で右の膝を故障して以降、実戦から離れていた興南の伊禮颯雅(そあ)が主将としてチームをまとめ優勝を果たした。

中学で全国制覇した神森のメンバーが再び主力を担う。前半には照屋拓実と速攻でフリーになると息の合ったスカイプレーを決めた。親泊寛裕も5得点するなどチームで35点まで積み上げた。

別の中学出身者も含め、合わせたスカイプレーを決めた。親泊寛裕も5得点するなどチームで35点まで積み上げた。



男子優勝の興南。8日、八重瀬町の具志頭社会体育館



女子優勝の那覇西。8日、八重瀬町の具志頭社会体育館

自転車

エムプレオ4冠

て、厚みを増した新チーム。伊禮は目指すは全国制覇と意気切った。

(県総合運動公園自転車競技場)
【男子】
▽チームスプリント決勝 ①北中城B(新垣快琉、仲原颯志、大瀬拓人) 1分09秒89 ②北中城A 1分10秒287 ③沖繩 1分17秒088
▽1キライムトライアル決勝 ①エムプレオ・トシアキ(北中城) 1分10秒738 ②山中蒼天(同) 1分12秒299 ③仲原颯志(同) 1分13秒463
▽4キライムバースコート決勝 ①北中城(新垣、山中、比嘉奏太、エムプレオ) 5分02秒636
▽16キライムポイントレース決勝 ①新垣25点(成海慶(美来十科) 19点) ②山中13
▽3キライムデヒビエタルバースコート ①山中4分02秒696 ②大島匠泰(宮吉) 4分02秒798 ③新垣4分05秒245
▽スプリント3・4位決定戦 ①比嘉の謝花颯哉(沖繩工) ②同決勝 ①エムプレオ・斎藤真南斗(昭葉付) ②スクラッチ8 ③決勝 ①エムプレオ12分18秒394 ②新垣3山城佳孝(那覇) ③4キライム競争決勝 ①山城5分25秒784 ②山中5分26秒626 ③菅間幸治(那覇) 5分31秒766
▽ケイリン決勝 ①エムプレオ ②比嘉の大瀬
【女子】
▽500メートルタイムトライアル ①池原杏(北中城) 41秒102 ②下地梨里愛(宮吉) 47秒342 ③薩摩琉歌(宮吉工) 53秒920
▽スプリント3・4位決定戦 ①薩摩
▽同決勝 ①池原2下地
▽スクラッチ6 ①決勝 ①池原9分50秒143 ②下地
▽2キライムデヒビエタルバースコート ①池原3分00秒815 ②下地3分21秒478 ③薩摩4分06秒715